

第5章 環境配慮指針

地区別に地区の環境課題に対して、必要な環境配慮指針を作成します。

地区別の

5つの地区ごとに、地域の特性を

山北地区

《地域特性》

- ・山間部が直接海と接する地形上にあり、大半が森林によって占められています。海岸部では、府屋周辺の砂浜海岸ではハマナスなどの海浜植物が生育しているほか、笹川流れに沿ってイワユリ（スカシユリ）が見られます。
- ・清浄で美しい湧水が多いことでも知られており、吉祥清水が環境省の“平成の名水百選”に選定されているなど、名水の宝庫となっています。

《主な施策、取組》

- ・森林の植生と生態系の保護
- ・海浜植物の保護
- ・水源地の保全

村上地区

《地域特性》

- ・市役所から JR 村上駅にかけての中心市街地は、本市の中核的都市機能を有し、行政や商工業の中心地となっています。同時に、古くからの武家屋敷や町屋など、歴史・文化が現在もその姿をとどめています。
- ・海岸部や門前川上流部の山岳地には、森林が広がり、一部には貴重な自然林が残されています。また、里山から田園にかけては地域住民により自然が守られています。

《主な施策、取組》

- ・親しみやすい水辺環境の整備
- ・都市のエネルギーシステムの効率化の推進
- ・町並みの保全と創造

荒川地区

《地域特性》

- ・荒川左岸部の田園地帯と高坪山を頂点とする中山間地（里山）からなる、農業を中心とした地区です。中心街の周囲では、地下水が豊富にあり、湧水も見られます。
- ・里山では、森林の荒廃や畑の耕作放棄地なども目立ちますが、伐採も行われ、自然環境の回復の兆候が見られます。

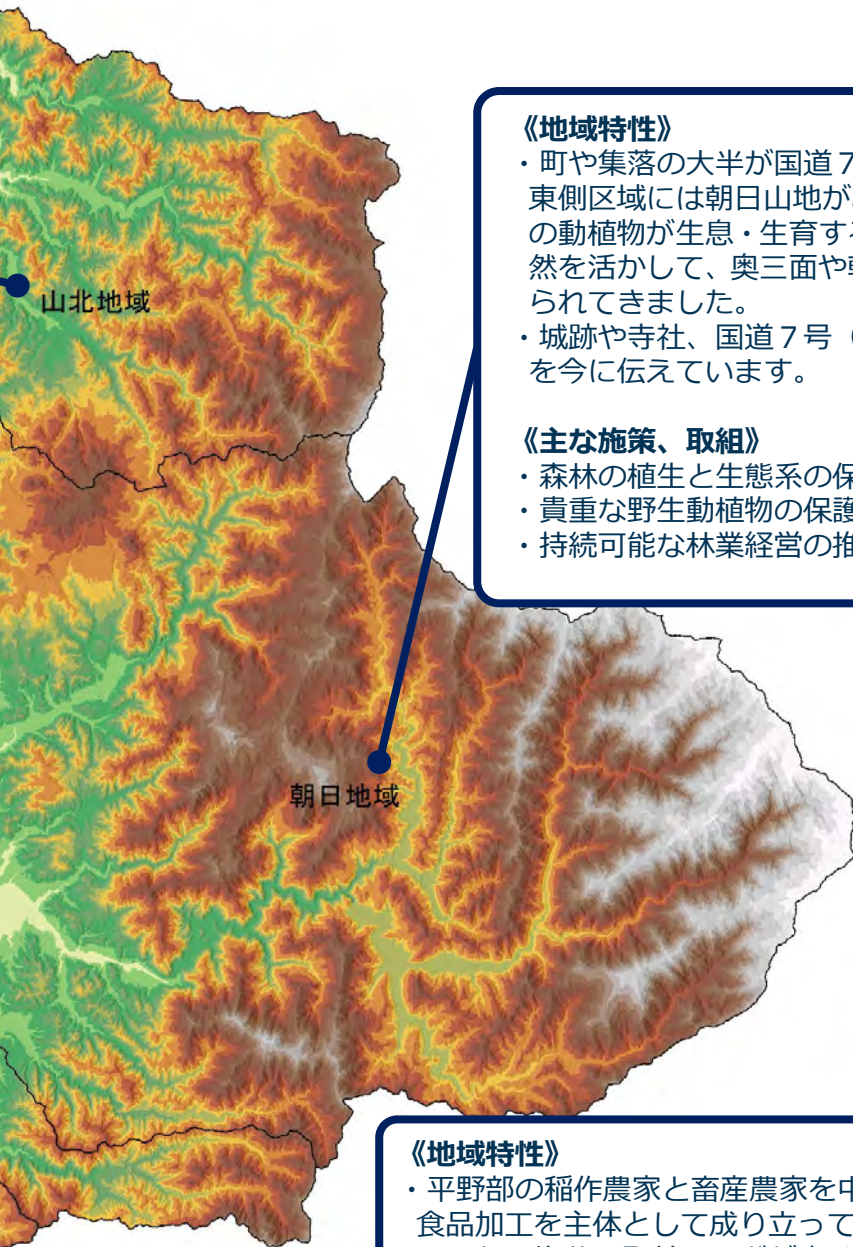
《主な施策、取組》

- ・自然豊かな農地の保全
- ・水源地の保全
- ・環境に配慮した農業の推進



環境配慮指針

を活かした施策、取り組みを示します。



朝日地区

《地域特性》

- ・ 町や集落の大半が国道7号や三面川及び高根川の下流域にあり、東側区域には朝日山地があります。広大な森林には多種多様な野生の動植物が生息・生育する貴重な自然環境が今も残されており、自然を活かして、奥三面や朝日スーパーラインなど、観光開発も進められてきました。
- ・ 城跡や寺社、国道7号（旧出羽街道）の旧宿場町などが古い歴史を今に伝えています。

《主な施策、取組》

- ・ 森林の植生と生態系の保護
- ・ 貴重な野生動植物の保護
- ・ 持続可能な林業経営の推進

神林地区

《地域特性》

- ・ 平野部の稲作農家と畜産農家を中心とした農業や地元産農産物を利用した食品加工を主体として成り立ってきました。同時に、平林城跡や寺社、板碑のほか、塩谷の町並みなどが古くからの歴史を今に伝えています。
- ・ 里山では、ホタルの生息する中小河川や溪流があるほか、嶽薬師・要害山には散策路や登山道も整備され、地域住民に親しまれています。

《主な施策、取組》

- ・ 丘陵及び里山の森林整備
- ・ 農業系資源の循環利用の促進
- ・ 歴史景観の保全

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章